

たかおか

市議会 だより

金メダリスト登坂絵莉選手 高岡で凱旋パレード

新高岡駅から
かがやきに乗ろう!!



No.44 9月定例会号
平成28年(2016年)11月1日発行

| | |
|------------|-----|
| 9月定例会のあらまし | 2P |
| 代表質問 | 5P |
| 個別質問 | 6P |
| 委員会の動き | 10P |

編集■広報広聴委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



補正予算・条例など

15議案を可決・同意

代表・個別質問に12人が登壇

9月定例会は12日に開会し、27日に閉会しました。

市長から平成28年度一般会計補正予算をはじめ19議案が、議員から意見書3議案が提出され、うち15議案を可決・同意し、また、平成27年度決算の認定をはじめ4議案を継続審査としました。

今定例会では、代表質問に1会派、個別質問に11人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意した 主な議案等

条例

ひとり親家庭等医療費助成 条例の一部改正

児童扶養手当法施行令の改正に伴い、同令を引用する条項の整理を行うもの。

富山県高岡看護専門学校修 学資金条例（新規）

経済的理由により、修学が困難な富山県高岡看護専門学校生に対し、修学に必要な資金を給付又は貸与することでその修学を容易にし、もって呉西圏域6市（高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部

市、南砺市）における看護師の確保、定住人口の増加に資するもの。

(1)対象者
次の項目全てに該当する者
(住所地要件なし)

- ①富山県高岡看護専門学校に在学している者
- ②学費の支弁が困難であり、かつ、学業成績が優秀である者
- ③他の奨学金制度を利用していない者

- (2)金額等
- ①給付型 月額3万円
- ただし、卒業・免許取得後、継続して5年間、呉西圏域6市に居住し、呉西圏域6市の対象施設で看護業務に従事することが条件



富山県高岡看護専門学校が入る再開発ビル「sorae高岡」

- ②貸与型 月額3万円（無利子）
- (3)給付又は貸与期間 3年間
(正規の在学期間に限る)
- (施行期日)
平成29年4月1日

その他

県西部各市（射水市・氷見市・砺波市・小矢部市・南砺市）のつやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議

つやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結することに関し協議することについて、地方自治法第252条の第3項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

主な議決結果一覧

初日提出議案

平成28年度 補正予算

- ◇一般会計……………全会一致で可決
- ◇介護保険事業会計……………全会一致で可決

条例

- ◇ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇富山県高岡看護専門学校修学資金条例……………全会一致で可決

その他

- ◇射水市とのつやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議……………全会一致で可決
- ◇氷見市とのつやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議……………全会一致で可決
- ◇砺波市とのつやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議……………全会一致で可決
- ◇小矢部市とのつやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議……………全会一致で可決



とやま呉西圏域連携中枢都市圏 連携協約締結式

- (1) 対象市
射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市
- (2) 協約目的
連携中枢都市圏形成の基本的な目的を規定するもの。
- (3) 主な取り組み
① 圏域全体の経済成長のけん引
② 高次の都市機能の集積・強化
③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上
- 工事請負契約の締結
矢田市営住宅建替工事
既存の簡易耐火平屋建て住戸を別地にて建て替えるもの。
契約金額 4億8492万円

■平成28年度 補正予算の概要

| | |
|--------------------------|-----------|
| ● 一般会計（補正額） | 9億5,843万円 |
| 《主な事業》 | |
| とやま呉西圏域連携事業 | 3,002万円 |
| 新高岡駅利用促進事業 | 200万円 |
| 予防接種事業 | 1,400万円 |
| 富山県高岡看護専門学校運営費補助（債務負担行為） | |
| 期間 平成29～31年度 | 2億600万円 |
| 道路維持管理事業・交通ネットワーク整備事業 | 4,000万円 |
| 除雪対策事業 | 2億5,911万円 |
| 通学路交通安全プログラム事業 | 25万円 |
| 世界文化遺産登録推進事業 | 250万円 |
| 日本遺産魅力発信推進事業 | 2,824万円 |
| 農業土木事業 | 2,350万円 |
| 商業振興事業 | 238万円 |
| まちづくり人材育成事業 | 700万円 |
| たかおかウェルカムサポート事業（連携事業以外） | 200万円 |
| ● 特別会計 | |
| 介護保険事業会計（補正額） | 1億6,416万円 |

■財産の取得

情報システム強化基盤（機器及びソフトウェア）一式
マイナンバー制度の導入に伴い、情報セキュリティの抜本的な対策（庁内ネットワークの強化）を講ずるために必要な機器及びソフトウェアを取得するもの。

取得価格 9558万円

■字の区域の変更及び廃止

木津土地区画整理事業の施行に伴い、同事業区域内の字

人 事

区域を変更及び廃止するもの。

■教育委員会委員

土田 一清氏（新任）

（野村）

■公平委員会委員

齊藤 栄吉氏（新任）

（野村）

■人権擁護委員

吉川 佳子氏（再任）

（川原本町）

◇南砺市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議
..... 全会一致で可決

◇工事請負契約の締結（矢田市営住宅建替工事）
..... 全会一致で可決

◇財産の取得（情報システム強化基盤（機器及びソフトウェア）一式）
..... 賛成多数で可決

◇字の区域の変更及び廃止
..... 全会一致で可決

◇平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
..... 全会一致で継続審査

◇平成27年度工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分
..... 全会一致で継続審査

認 定 《平成27年度決算》

◇平成27年度高岡市民病院事業会計ほか4会計決算
..... 全会一致で継続審査

◇平成27年度一般会計・国民健康保険事業会計ほか5
特別会計決算
..... 全会一致で継続審査



6月定例会後～9月定例会前

- 6月22日 広報広聴委員会
- 7月 8日 広報広聴委員会
- 13日 総務文教常任委員会
- 15日 港湾対策特別委員会
歴史文化・広域観光対策
特別委員会
- 19日 経済消防常任委員会
- 21日 議会改革検討委員会
民生病院常任委員会
- 22日 建設水道常任委員会
- 8月30日 新幹線・公共交通対策
特別委員会
議会改革検討委員会
- 9月 2日 議会運営委員会
代表者会議
- 5日 議員説明会
- 6日 正副常任委員長会議

9月定例会

- 9月12日 議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
- 14日 本会議(代表質問)
- 16日 議会運営委員会
本会議(個別質問)
- 20日 本会議(個別質問)
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 21日 代表者会議
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 23日 議会運営委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
- 27日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)

会派構成変更のお知らせ

議員の辞職等により、会派構成が次のとおりとなりました。(平成28年10月11日現在)

※議席順

■自民同志会 (17人)

横田 誠二
藪中 一夫
中川加津代
坂林 永喜
本田 利麻
福井 直樹
永森 茂
金森 一郎
曾田 康司
狩野 安郎
水口 清志

■社民党議員団 (3人)

高島 義一
青木 紘
荒木 泰行
館 勇将
島 起也
山沼 茂敏
石須 大雄
野上 達夫
上田 武

■公明党 (2人)

吉田健太郎
樋詰 和子

■市政高岡 (1人)

四十九清治

■日本共産党 (1人)

金平 直巳

■自民友進会 (1人)

盤若 進二

■志政会 (1人)

大井 正樹

■最終日追加提出議案

人 事

- ◇教育委員会の委員の任命……………全会一致で同意
- ◇公平委員会の委員の選任……………全会一致で同意
- ◇人権擁護委員の推薦……………全会一致で同意

議員提出議案 (意見書)

- ◇慎重な憲法論議を求める意見書……………賛成少数で否決
- ◇介護保険制度のサービス縮小を行わないことを求める意見書……………賛成少数で否決
- ◇子どもの貧困対策の推進と強化を求める意見書……………賛成少数で否決

代表質問

今定例会では、自民同志会の代表が市政全般に
わたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお
知らせします。



自民同志会
曾田 康司

次期計画の基本方針は

総合計画第3次基本計画
について問う。

(1)第3次基本計画の推進に当
たって、どのような施策に積
極的に力を入れていくのか。
(2)第3次基本計画のリーディ
ングプロジェクトの一つに、
「安心して子どもを産み育てら
れるまちをつくる」とあるが、
具体的にどのように取り組ん
でいく考えなのか。

市長 (1)少子高齢化に伴い、
急速に進行する人口減少社会
への対応は、今、取り組みを
進めなければならない重要な
課題である。この課題に対応
するため、第3次基本計画に
おいては、先行して策定した
「未来高岡」総合戦略の基本
的な考え方である（人口減少
と地域経済縮小の克服に向け
たまち・ひと・しごとの創生
と好循環の確立）と軌を一に

して四つのリーディングプロ
ジェクトを掲げ、移住・定住
の促進、子育て支援、創造的
人材の育成、魅力的な仕事づ
くりなどに先導的・重点的に
取り組むこととした。これら
の取り組みを通じて、人口減
少社会においても、創造的で
活力あふれる高岡らしいまち、
市民創造都市高岡づくりを実
現したいと考えている。

(2)このリーディングプロジェ
クトにおいては、しごとと子
育ての両立の推進、地域で子



安心して子育てができるサービスの充実を

育て家庭を支える社会の形成
安心して子育てができるサー
ビスの充実及び地域の文化に
誇りと愛着を持つ子どもの育
成を施策の柱としている。総
合計画の計画期間となる平成
29年度以降においては、認定
こども園への移行の推進、多
機能型保育園整備の検討、地
域における子育て拠点施設の
充実とネットワーク化、子ど
もの貧困対策事業の推進など
に取り組むたい。これらを通
じて、ライフステージに応じ
て切れ目のない、多様な子育て
支援策を総合的に展開して、
安心して子どもを産み育てら
れるまちを実現したい。

公共施設の計画的な管理

問 今後の公共施設の整備の
方向性について問う。

(1)老朽化が進んだ公共施設の
存続、廃止等は、最終的には
首長が判断して、速やかに方
針を決める必要があると考え
るが、見解は。

(2)災害活動拠点である消防本
部庁舎の建て替えのスケジュ
ールは。また、建て替えに当

たり、新たに確保すべき機能
や設備についての考えは。

市長 (1)公共施設マネジメン
トについては、人口減少や少
子高齢化、住民ニーズの変化
等を踏まえ、施設総量の適正
化、長寿命化の推進及び施設
の有効活用を柱として進めて
いく。公共施設の存続、廃止
は、もとより、市長が責任を
もって最終的な判断を下すも
のである。その際、存続・廃
止ということだけでなく、有
効活用、長寿命化の可能性な
ども含め総合的に検討を進め
ることが必要であり、その方
針・基準をできるだけ早く固
めたいと考えている。

消防長 (2)現庁舎は、昭和48
年に建築された車庫棟と平成
5年に増改築された事務所棟
から構成され、このうちの車
庫棟部分について必要な耐震
性能を有していないとの診断
結果を受けていることから、
一部改築による耐震改修を行
いたいと考える。改築に当た
っては、消防本部・高岡消防
署の機能を維持しながらの整
備となるため、災害出動体制
の確保を最優先とした庁舎レ
イアウトや仮設工事費の縮減
などを考慮しながら、29年度
より具体化に向けた手続きに
着手したい。また、改築に当

然災害等に迅速に対応するた
めの消防指揮本部機能の強化、
緊急消防援助隊の受援体制を
確保するための作戦室の拡充
整備、福岡消防署建設の際に
導入した庁舎の屋上を利用し
た救助訓練施設などの整備、
女性消防吏員受け入れ環境の
整備など、新たな機能確保に
についても検討している。

障がい児保育の支援

問 多種多用途化し、増加傾向
にある障がい児への保育に対
応するため、障がい児保育の
補助金の増額を市単独ででき
ないかと考えるが、見解は。

福祉保健部長 障がい児の保
育については、障がい児の健
全な社会性の成長と発達を促
進するため、集団保育が可能
な限り、保育所等で健全な児
童とともに保育することが望
ましいと考える。本市におい
ては、障がい児の受け入れ人
数に応じた補助制度を設けて
おり、県の補助制度に加え、
一定の要件を満たす障がい児
に対して、市単独で補助金を
交付している。今後も障がい
児保育がより充実し、民間保
育所等での受け入れがより円
滑に行われるよう、子育て支
援施策全般を考慮しながら検
討したい。

個別質問

今定例会では、11人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



福井 直樹
自民同志会

とやま呉西圏域連携事業

問 こども福祉支援相互連携事業では、呉西圏域6市の子ども医療費助成を現物支給に統一することだが、具体的な内容と今後のスケジュールは。

福祉保健部長 6市に住む子どもが、6市の中の医療機関を受診する際でも、福祉医療費請求書を医療機関等の窓口提出することで、一部負担が無く診療を受けられるようにするものである。本市においては、平成29年4月1日から、新たに南砺市が加わり、6市全ての医療機関での受診が対象となる予定である。

レスリングのまちな

問 本市を「レスリングのまち」として展開しては。

教育長 子どもから大人まで



市役所1階「外国人のための生活相談コーナー」

の本市のレスリング競技人口は、他のスポーツに比べると、まだまだ少ないのが現状である。このため、まずは、競技人口の拡大を図り、未来のトップアスリートを育むための競技力向上を推進し、第2、第3の登坂絵莉選手が育つよう努めたい。

外国籍市民の生活相談

問 外国人のための生活相談コーナーの現況は。

市民生活部長

ポルトガル語による相談は、平日の午後に、中国語では毎週水曜日の午後2時から4時まで実施している。平成27年度の相談件数は2698件であり、26年度より72件多く、ブラジル人、中国人以外からの相談も約1割あり、多くの外国籍市民に利用されている。相談内容は、主に税金、生活相談、児童手当をはじめとした子どもに関することなど生活に密接したものが多く、27年度はマイナンバーカードに関する相談が約4分の1を占めた。



金平 直巳
日本共産党

認知症支援拠点の整備

問 認知症疾患医療センター設置に向けた取り組みの現状と今後のスケジュールは。

福祉保健部長 設置者となる県、実施予定箇所の市民病院、協力医療機関等と協議を重ね

ている。センター設置の検討会議を平成28年内に開催し、円滑な連携体制の強化を図る。また、より専門的な認知症医療の提供には治療・研究を行っている関係大学の医局の協力が不可欠であり、協力要請している。関係施設との調整や診療・相談体制の確立など、先行事例も参考にしながら設置に向け検討を進めている。

中小企業のために

問 中小企業の経営を揺るがす信用保証制度の改悪の動きに反対の要請を。

市長 国が進める信用保証制度の見直しは、企業の成長期などの段階を踏まえ、保証協会が適切に責任を共有しながら、事業者と金融機関が共に経営改善に取り組むことを促進しようとするものと認識している。真に中小企業の発展を支える制度として、事業者の状況に合わせた配慮がなされることを期待するとともに、今後の動向を注視したい。

高岡断層への備え

問 高岡断層についての国の地震調査研究推進本部における検討促進の要請を。

市長 高岡断層は、新たに認

められた活断層であり、国の地震調査研究推進本部で、地震規模や発生確率などの調査が実施されるものと聞いている。市民の生命や身体、財産を守り、安心して安全に暮らせるまちづくりを行うことが最大の責務と考え、予定されている調査が適切に実施されるよう、近隣市・県と連携し、国に働き掛けていきたい。



上田 武
社民党議員団

ドクターヘリの救命効果は

問 県がドクターヘリの運行を開始した平成27年8月以降、市内からの搬送件数と主な内容は。また、救命効果は。

消防長 28年9月14日までに市内からドクターヘリを要請した件数は48件で、うち、キヤンセル等を除く26件が医療機関へ搬送された。事故種別は、急病20件、一般負傷3件、交通事故2件、自損事故1件で、傷病程度は、死亡11件、重症6件、中等症7件、軽症2件である。通報からヘリ収容までの平均時間は約24分で、救急車だけを利用した場合よ

り約6分短縮されており、救命率の向上につながっているものと考えている。

医療機器の点検・整備を

■ 市民病院のMRI装置故障により、半日以上検査できない事態となったが、二次救急としての役割を果たすためにも、早急な対策が必要では。

市民病院事務局長 平成22年度に現在のMRI装置を設置して以来4回故障し、検査が予定どおりできなかった。二次救急の指定病院として、日



防災士増員で地域防災力の向上を

頃から救急患者の受け入れ体制を整える必要があるため、今後とも医療機器の点検・整備に万全を尽くし、計画的な高度医療機器の導入・更新についても検討したい。

防災リーダーの育成を

■ 地域防災力向上に資する防災士の増員や、防災知識・技能向上のための取り組みは。

市長 地域の防災リーダーとしての役割を果たす防災士を、各校下2名以上配置することを目標に、資格取得に対する支援を行っている。知識・技能を高めるためには、防災士間で交流を深め、防災技術の習得や防災情報の共有を図ることが有効であると考える。



吉田 健太郎
公明 党

クルーズ船の受け入れ環境

■ 観光振興のため、大型クルーズ船受け入れの環境整備に向けた積極的な取り組みを加速させるべきでは。

産業振興部長 世界最大の22万トン級クルーズ船の受け

入れには、水深確保や係留機能の強化が必要であり、これらの施設整備を国・県に要望している。また、伏木港クルーズ客船歓迎クラブの会員の中から外国語通訳ボランティアの募集や、高岡らしいモノづくり体験など、新たな取り組みも検討している。

子育て・介護環境の整備を

■ 子育て・介護の環境整備に向けた、本市の方針は。

福祉保健部長 子育てでは、子ども・子育て支援事業計画に基づき、地域ごとの子ども・子育てニーズへの柔軟な対応を基本に、子育て支援施設の機能充実を図っていく。介護では、第6期介護保険事業計画に基づき、在宅サービスや施設サービスなどの充実を図っていく。また、住み慣れた地域で生活を送ることを基本に、地域密着型サービスの整備を重点的に進めている。

前計画の検証を踏まえて

■ 総合計画第2次基本計画の進捗状況にみる「新たな産業創造の推進」について、雇用の場の創出につなげるための検証が重要だが、第3次基本計画にどう反映させたのか。

市長 第2次基本計画では、積極的な企業誘致により、オフィスパークが完売するなど、雇用の場の創出につながった。第3次基本計画では、「魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる」ことをリーディングプロジェクトの一つに掲げ、本市の特性を活かしたものがづくりを基盤とする魅力あるしごとの創出に努めたい。



石須 大雄
社民党議員団

電動アシスト自転車の増設

■ 坂道の多い地区の観光や、高齢者や体力の無い方の利便性向上のため、市が設置するレンタルサイクルステーションに電動アシスト自転車の配置を増やしては。

産業振興部長 高岡駅周辺は比較的平坦な地域であり、利用者からの電動アシスト自転車の配置の要望もほとんどないが、車両の更新時には何らかの検討をしたい。一方、坂の多い伏木地区では、勝興寺の完成に向け、自転車での新たな観光ルートを考える中で、導入の可能性について調査・

検討できないかと考えている。

公共交通の今後は

■ 公共交通について問う。
(1) 城端線・氷見線観光列車「べるもんた」の継続運行には安定した利用者が必要と考えるが、利用状況は。

(2) 9月3日のがやき一斉乗車の日では、市民の想いを示すことができたことだが、

かがやきの定期化の見通しは。
都市創造部長 (1)平成27年10月の「べるもんた」の運行開始から3カ月間の累計利用者は3500人に上り、乗車率は96パーセントとのことであった。その後も好評を得て、利用者が順調に増加し、28年6月には累計利用者が1万人に達している。JRからは、現在でも満席に近い状況が続いていると聞いている。

市長 (2)JRからは、定期化は一貫して厳しい状況にあるとの見解が示されており、今後、より一層の利用促進が求められるものと考えている。JRに地域の想いを示したかがやき一斉乗車の日を取り組みをテコとして、首都圏への取り組みを一層強化したい。かがやきの定期化を目指し、やれることはすべてやるという姿勢で全力を尽くしたい。



本田 利麻
自民同志会

大規模開発に地元の理解を

問 産業集積促進のため、戸出西部金屋地区では大規模開発が想定される。地元の協力が不可欠と考えるが、見解は。
産業振興部長 今回、市街化された区域には、高岡砺波スマートインターチェンジ、高岡オフィスパークにそれぞれ近接する南北2カ所があり、企業誘致を効果的に進めるには、南北を併せた一体的な開発が不可欠である。市の内部会議と並行し、地元や地権者の意向も踏まえ、産業集積の新たな拠点として整備したい。

観光資源で広域連携を

問 県外観光客の新幹線利用増を図るため、日本遺産、文化遺産を活かした高岡の魅力発信と県西部6市の観光資源を連携する施策が必要であると考えますが、今後の進め方は。
市長 高岡の魅力発信に努めるとともに、新高岡駅の利用範囲である呉西圏域6市及び飛騨、能登地域が連携できる

共通のテーマとして、日本遺産等の関連資源を結ぶ世界遺産街道の構築や、ターゲット客層にに応じて、寺社巡りや修行体験ツアーなどの提案に、とやま呉西圏域事業としても積極的に取り組んでいきたい。

通学路安全点検の情報共有

問 通学路交通安全プログラム事業で実施した調査の結果や対策を校区間で情報共有してはと考えるが、見解は。
教育長 今回の合同点検結果を基に、各小学校区の対応箇所図、対策一覧表をホームページ上に公表し、地域を含めて広く情報を共有する予定である。また、対策実施後のアンケート等を通して対策の効果を検証し、校長会等で効果的な対策を紹介するなど、平成29年度以降の各校の改善に活かしていきたい。



中川 加津代
自民同志会

京田踏切の整備の方向性

問 京田踏切の立体交差化について問う。

(1)現在詳細設計が行われていると聞いているが、地下式の立体交差になることにより、歩行者、自転車の安全はどのように確保するのか。
(2)立体交差化により市民生活や観光面において大きな変化があると考えますが、新高岡駅周辺の交通利便性はどのように向上するのか。

都市創造部長

(1)地下式立体交差化により、踏切の横断に伴う事故が無くなり、車道と歩行者・自転車の道路を分離するため接触事故も回避される。また、線路に隣接して立体的に横断する道路を新設することにより、横断する歩行者・自転車の事故防止にも寄与することから、安全性が飛躍的に向上すると考えている。
(2)自動車については、外環状道路が強化され、交通渋滞の緩和や鉄道交差部の通過時間短縮が図られ、将来的な土地利用も勘案した円滑な交通確保が可能となる。歩行者については、新高岡駅から瑞龍寺へのアクセスが改善されるなど、市民生活や観光面を含めて周辺の回遊性の改善に大きく寄与すると考えている。

カラー舗装で安全対策を

問 通学路の安全性向上のため、路面のカラー舗装化を推進してはと考えるが、見解は。



通学路のカラー舗装化で安全性向上を

都市創造部長 通学路の安全確保については、十分な歩行空間が確保できない場合、歩車道分離の視認性向上の方法としてカラー舗装化も有効な手段の一つと考える。現在取り組んでいる通学路交通安全プログラムで抽出された危険箇所の中で、カラー舗装化により安全性の向上が期待できる箇所については、計画的な整備に取り組みたい。



横田 誠二
自民同志会

外国人ボランティアの活用

問 訪日外国人への観光案内や在住外国人への災害対応等のため、外国人ボランティアの活用を積極的に進めては。
市民生活部長 本市に居住する外国籍市民に観光ボランティアとして活動してもらうためには、語学のみならず歴史や文化を理解する研修等の養成環境を十分整えながら、段階的に進めていく必要がある。災害時には、外国籍市民及び滞在中の外国人観光客の安全確保や、安心できるための必要情報が行き渡るよう、災害時の外国人ボランティア登録に向けて、準備を進めたい。

映画「デンサン」への支援

問 高岡が舞台の映画「デンサン」実行委員会との連携や必要な支援を進めては。
産業振興部長 映画やテレビドラマ等のロケーション撮影の誘致などを担う高岡フィルムコミッションを中心に、撮

影現場の駐車場確保や観光客



高岡が舞台 映画「デンサン」撮影のワンカット

8市1村が参加し、万葉に関する歴史や文化の継承、万葉故地の連携と魅力発信等について協議を深めることは意義深い。また、県や水見市とは情報交換を重ねており、県とは関係機関が連携した企画展示や巡回展示等の記念事業について協議を進めている。



樋詰 和子
公明党

インフラ総点検の実施

生活密着型インフラ整備の総点検と早期対策強化への取り組みは。

上下水道事業管理者 水道事業は、老朽ダクタイル鉄管の布設替えと、基幹管路の耐震化を推進する。また、下水道事業は、未普及地域整備に加え、老朽化対策に取り組まなければならないと考えている。平成28年度は現状調査及び更新計画を策定し、29年度から本格的に老朽管渠の更新・耐震化に着手する。

避難所に女性の視点を

災害時の避難所などで女

性の視点を取り入れるため、女性防災リーダーの養成を。

市民生活部長 避難所運営に

女性のニーズを反映させるためには、女性が自主防災活動等に関わることが効果的である。男女共同参画の視点に立った地域防災活動が推進されるよう周知啓発に努め、防災リーダー養成研修等へ女性の参加を働き掛ける。また、女性が積極的に参加するための有効な手立てについて関係部局等と相談していきたい。

文化プログラムの推進

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会までに、各地で実施する文化プログラムへの参加に向けた取り組みを。

市長 国では、日本の顔となる文化芸術活動の推進や日本遺産を背景とした文化芸術による地域活性化事業の推進などに取り組むとしている。本市では東京五輪を産業、観光、文化面など本市の魅力を多角的に発信する好機とし、部局を横断した庁内推進体制を整えた。本市の歴史やものづくりに文化などを大切にし、世界に開かれた文化プログラムの推進に積極的に取り組みたい。



坂林 永喜
自民同志会

ライフラインの老朽化対策

密集市街地におけるライフラインは、浸水した場合、衛生上、甚大な被害が想定される下水道老朽化への対応は。

上下水道事業管理者

現在、事故を未然に防止するため、下水道管渠の点検、現場パトロール等により維持管理を行っている。また、平成28年度は老朽管路の調査と更新計画の策定を進めている。総合計画第3次基本計画及び上下水道ビジョンに老朽下水道管渠の更新・耐震化事業を新たに掲げ、計画的に進めることとしている。

十分な治水・浸水対策を

雨水対策として平成27年度に重点を置いた対策は。また、その効果と成果は。

副市長

緊急浸水対策行動計画に基づき、河川及び下水道等の整備や、側溝改修に重点を置いて対策を行った。地久子川の河川改修では、流下能

力が大幅に向上したことから、27年度からは上流に向けて用地補償に着手した。下水道事業では、住吉ポンプ場雨水施設の機能増強事業等により排水処理能力が改善された。また、土のう配備箇所を増やすとともに、内水ハザードマップを作成・配布した。

ボランティア人材の確保

福祉ボランティア活動の有償化や、共助としてのNPO法人についての見解は。

福祉保健部長

多くの福祉人材による地域福祉ネットワークを強めていくことが望ましい。多岐に渡る福祉課題のニーズに対し組織的・効率的に解決するためには、有償ボランティア人材やNPO法人の活用は有効な方策の一つと考えられることから、活用方策等について研究していきたい。



家持くん

利長くん

委員会の動き

4常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆たかおかウエルカムサポート事業では、県西部6市で首都圏での移住・定住サポートステーション設置に向けた事前調査を行うとのことだが、設置方法としては、6市共同のステーションの中に本市のブースがあるということか。

◆サポートステーション設置には県西部6市の合意が必要となり、設置には時間が掛かることが懸念される。速やかに事業を進めてもらいたい。設置に向けた方向性は。

◆自治会公民館建設等事業費補助金では、三つの自治会公民館の修繕等に係る助成費用が計上されているが、具体的にどの自治会公民館に対し助成を行う予定か。

○民生病院常任委員会

◆子ども・子育て支援事業計画では、平成25年度実績で1カ所であった病児・病後児対応型の保育施設を、31年度までに4カ所に拡充することとしているが、進捗状況と今後の事業促進の考え方は。

◆とやま呉西圏域6市の連携事業である低炭素化社会づくり事業では、環境関連施設や工場等を巡る環境保全・啓発ツアアの実施や、とやま環境フェアへの出展を行うとしているが、これらの詳細は。

◆富山県高岡看護専門学校修

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月21日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

| | | |
|-------|-------|-----------------------|
| 1日 困 | 11時 | 議員協議会 |
| | 13時 | 本会議（認定議案議決・市長の提案理由説明） |
| 5日 月 | 10時 | 本会議（個別質問） |
| 6日 火 | 10時 | 本会議（個別質問） |
| 7日 水 | 10時 | 議会運営委員会 |
| 8日 木 | 10時 | 本会議（総括質問） |
| 9日 金 | 13時 | 民生病院常任委員会 |
| | 13時 | 経済消防常任委員会 |
| 12日 月 | 10時 | 議会運営委員会 |
| | 13時 | 建設水道常任委員会 |
| | 13時 | 総務文教常任委員会 |
| 14日 水 | 9時30分 | 委員長会議 |
| | 10時 | 議会運営委員会 |
| | 11時 | 議員協議会 |
| | 13時 | 本会議（議案・意見書など議決） |

決算審査の予定

平成27年度決算審査は、下記のとおり開催される予定です。

| | | |
|----------|-------|-------------|
| 11月 8日 火 | 10時 | 水道病院決算特別委員会 |
| | 13時 | 決算特別委員会 |
| 10日 木 | 9時30分 | 決算特別委員会 |
| | 10時 | 水道病院決算特別委員会 |
| 11日 金 | 9時30分 | 決算特別委員会 |
| | 10時 | 水道病院決算特別委員会 |
| 16日 水 | 10時 | 水道病院決算特別委員会 |
| | 13時 | 決算特別委員会 |



（写真提供：フォトセッションクラブ）

笑顔でお出迎え 金屋町楽市 in さまのこ

○経済消防常任委員会

◆中高年齢者及び障害者雇用学資金条例では、経済的理由で修学が困難な学生に対し、修学金を給付あるいは貸与することとしているが、対象者選定に当たり、基準となるガイドラインを策定すべきでは。

◆中高齢者及び障害者雇用

市議会の傍聴

最近の定例会の傍聴者数

| 定例会 | 本会議 | 委員会 |
|--------|-----|-----|
| 27年12月 | 97人 | 0人 |
| 28年 3月 | 31人 | 0人 |
| 28年 6月 | 54人 | 1人 |
| 28年 9月 | 22人 | 2人 |

◆地域ぐるみ除排雪事業の状況は。

◆建設水道常任委員会

◆勝木原牧場廃止に伴う補助金返還に係る補正予算が計上されているが、当時の畜産振興事業費の総事業費は。また、補助金の返還が必要な理由は。

◆広域観光団体等負担金では、「日本橋とやま館」における県西部6市のキャンペーンに係る本市の負担金150万円が計上されているが、6市全体を含めた事業規模とその具体的な内容は。

◆新高岡駅利用促進事業の具体的な内容は。

◆住宅マスタープラン策定に係る現在の取り組み状況と今後のスケジュールは。

編集後記

8月に開催されたリオ五輪では、本市出身の登坂絵莉選手が、女子レスリング48キロ級において見事金メダルを獲得されました。本市では初、県内でも柔道の田知本遥選手に続く個人での金メダル獲得という快挙であり、凱旋パレードや報告会などでは、多くの市民の皆さまにも盛り上げていただきました。

4年後の東京大会に向けても大いに夢が膨らむ中、9月定例会では県西部6市による連携中枢都市圏の形成に向けての事業や、平成29年度から実施される第3次基本計画についてなど、「未来高岡」創造に向けた取り組みの審議が行われました。市民の皆さまとの「共創」による新しいまちづくりを目指し、議会としても真摯に取り組んでまいります。（吉田記）

★編集委員

◎曾田、◎坂林、石須、横田、
藪中、吉田、盤若、金平

（◎委員長 ○副委員長）